



紙面から

- お知らせ 「後期高齢者医療制度」が始まります ……4
- お知らせ 市議会の議会構成が決定 ……5
- お知らせ 教育委員会に「特別支援教育推進チーム」を設置 ……6
- お知らせ 妊婦健康診査を受診しましょう ……7
- 催し 春の緑化月間 ……10
- 特集 平山季重ふれあい館オープン ……12

みどりの大地 青い地球をいつまでも ふだん着でCO2をへらそう

平成20年度 所信表明

私が幅広い市民の皆様のご信任を得て、日野市長の職を担わせていただき、12年目を迎えます。
平成9年に就任して以来、日本国憲法の理念のもと世界の恒久平和を目指しつつ、3つの基本、「市民参画」「環境にやさしい」「経営感覚」を貫いてまいりました。また「次の世代に美しいふるさとを渡すこと」を継続するスローガンとして、市政運営に邁進してまいりました。

先行き不透明な時代、日野市は前年度比マイナス4%予算で対応

今年、サブプライムローンの影響、原油価格の高騰あるいはアジア情勢に加え、国政や日本経済の行方に困難で不確実な状況があり、市政運営にも難しい年になると考え、前年度比マイナス約4%の予算を組みました。
このようなかた、市立病院の経営改善、75歳以上の方の医療制度、地球温暖化対策などに特に配慮して効果的な市政運営を進めてまいります。

市立病院 経営健全化と救急科設置へ

市立病院の運営面では、総務省と東京都から経営改善を求められています。加えて、財政健全化法により病院会計が連結決算となり、市の会計が良くて病院収支の改善が進まない日野市は厳しい評価を受ける事になります。そこで、市医師会や近隣病院と連携を深め、救急・災害・高度医療機能の充実を図

高齢者健康事業のさらなる充実を

健康・福祉の分野では、後期高齢者医療制度が4月から実施されます。75歳以上の方が不安なく、新しい医療制度に移行し安心してこの制度を利用出来るように進めます。
また、高齢者の敬老金などの現金給付を見直します。その費用で誰もが元気に長生き出来るよう、健康診査項目の追加、困りごとと支援など高齢者への本当に必要なお手伝いを充実します。障害者施策では、通所系施設への市独自の財政支援や、新たに生活・就労支援センターの開設を目指してまいります。

子育て支援の充実

子育てしたいまち、しやすいまち日野

子育て・教育の分野では、施設の見直し及び保育所の設置や学童クラブを新設し、待機児ゼロに向け取り組み、子どもの人口増加傾向に対応します。また放課後子どもプラン「ひのつち」などの内容充実を図ります。教育施策では、新たに通級指導学級の開設とともに特別支援教育をサポートする組織を作り、さらにきめ細かく児童の教育に対応します。

格差是正に向け様々な取り組みを

国政や経済の変化は急ですが、格差是正のため、セーフティネットへの配慮など、ひとり親家庭や低所得者など支え

平成20年度を迎えるにあたり、市政への所信等を申し述べ、市民の皆様にご理解ご協力をお願い申し上げます。



日野市長 馬場弘融

地球温暖化対策

ふだん着でCO2をへらそう

これまでも日野市は水と緑や都市農業を守りながら、ごみ問題はもとより食の安全まで、市民の皆様と共に環境を大切にまいりました。地球の環境問題はもう待たないのところにきています。美しい地球を、そしてこの地域を次の世代にしっかりと手渡したい。そのため日々の生活の中で、一人ひとりのCO2削減運動を、全市民的、全庁横断的に進めてまいります。市民の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

当面する行政課題

厳しい時代が続きますが、市民の皆様と「ともに創りあげるまち」の原点を忘れることなく、あらゆる可能性を探りつつ、柔軟にチャレンジしていく覚悟であります。

地球温暖化対策による持続可能な社会の実現～ふだん着でCO2をへらそう



- 市民・団体・事業者と「ふだん着でCO2をへらそう」協定を締結
- 生ごみを土に戻す地域循環の仕組みづくり
- 日野市地球温暖化対策を具体的に実施
- 用水の年間通水、用水を自然に近い形態で保全し開水化へ
- 良好な緑地の取得と保全（日野緑地・百草緑地）
- 湧水を守るための事業を進めます
- 景観計画を策定し景観条例の早期制定

市立病院経営健全化～財政健全化法と公立病院改革ガイドラインなどを踏まえ



- 必要な医師・看護師確保。病院全体の達成目標値設定。診療科別収益率向上。占床率アップにより経営健全化を推進
- 市民の健康を地域で守る救急科を新設、救急・災害・医療を充実
- 市民に誇れるようなレベルの高い医療を実施
- 「かかりつけ医」制度の充実で紹介率を引き上げ

2面に続く